



オーバードアR




取付説明書 — 直昇手動タイプ —

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

-  **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
-  **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

-  **ポイント** ●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
-  **※** ●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
-  **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細書で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>

注意

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け固定してください。
- 取付説明書の順番通りに組付けてください。製品の強度等、性能を低下させる場合が発生します。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

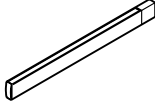
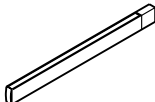
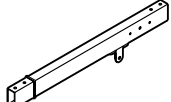
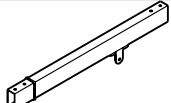

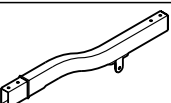


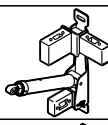
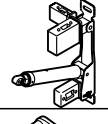

<基礎工事について>

注意

- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決まっていますが、現場によっては（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）十分考慮してください。
- 基礎施工寸法の柱埋込み位置は、性能や耐久性、安全上重要ですので必ずお守りください。
- 塩分を含む砂および塩素系のモルタル混和剤は使用しないでください。腐食の原因になります。
- コンクリート（またはモルタル）には、急結剤を使用しないでください。使用すると腐食の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

梱包明細書

①柱セット

名 称	略 図	員 数				
		W27・30型		ワイドオーバードア		
		H標準	Hハイルーフ	H標準	Hハイルーフ	
手動支柱標準用(右)		1	—	1	—	
手動支柱ハイルーフ用(右)		—	1	—	1	
手動支柱標準用(左)		1	—	1	—	
手動支柱ハイルーフ用(左)		—	1	—	1	
上アーム(右)・標準用		1	—	1	—	
上アーム(左)・標準用		1	—	1	—	
下アーム・標準用		2	—	2	—	
上アーム(右)・ハイルーフ用		—	1	—	1	
上アーム(左)・ハイルーフ用		—	1	—	1	
下アーム(右)・ハイルーフ用		—	1	—	1	
下アーム(左)・ハイルーフ用		—	1	—	1	
部 品 箱	扉取付金具(右)		1	1	1	1
	扉取付金具(左)		1	1	1	1
	把手		1	1	1	1

①柱セット つづき

名 称	略 図	員 数			
		W27・30型		ワイドオーバードア	
		H標準	Hハイルーフ	H標準	Hハイルーフ
補助スプリングユニット取付ピン		2	2	2	2
連結棒固定バンド		—	—	1	1
支柱キャップ		2	2	2	2
①-① M5六角袋ナット		2	2	2	2
①-② M5平座金		2	2	2	2
①-③ M6×16(+)六角ボルト(PW+SW)		32	32	32	32
①-④ φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		4	4	6	6
取付説明書	—	1	1	1	1
取扱説明書(ユーザーカード付)	—	1	1	1	1

②扉セット

名 称	略 図	員 数
本体		1
アーム連結棒		1

※本体には、扉取付金具裏板、扉取付ボルト(M8×15六角ボルトPW+SW)、接地ストッパーが仮組付しています。

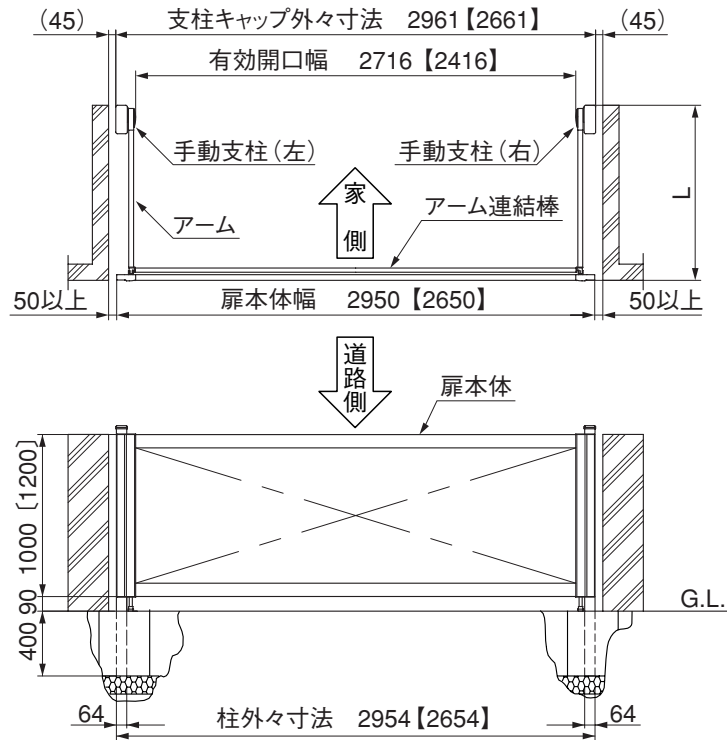
1. 姿図および基本寸法図

1-1 オーバードアR (W27・30型)、ワイドオーバードアR (W33～60型)

	サイズ	扉本体幅W	柱外々寸法 (支柱キャップ含まず)	有効間口幅	L	
					H標準	Hハイルーフ
オーバードアR	27型	2650	2654	2416	1080	1230
	30型	2950	2954	2716	1080	1230
プログコート1型	27型	2650	2654	2416	1105	1256
	30型	2950	2954	2716	1105	1256
ワイドオーバードアR	33型	3250	3254	3016	1092	1243
	36型	3550	3554	3316	1092	1243
	39型	3850	3854	3616	1092	1243
	42型	4150	4154	3916	1092	1243
	45型	4450	4454	4216	1092	1243
	48型	4750	4754	4516	1092	1243
	51型	5050	5054	4816	1092	1243
	54型	5350	5354	5116	1092	1243
	57型	5650	5654	5416	1092	1243
60型	5950	5954	5716	1092	1243	

1. つづき

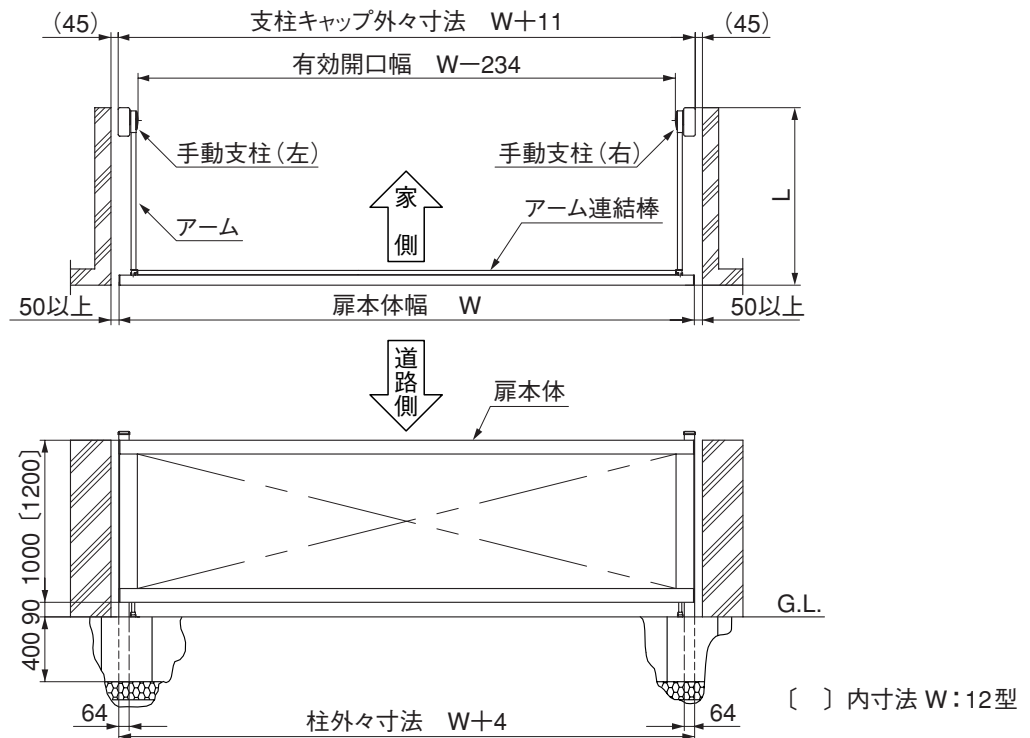
1-2 オーバードアR (W27・30型)



補足

- 本図は、W30 H10扉本体とH標準支柱を示します。

1-3 ワイドオーバードアR (W33～60型) オーバードアR プログコート1型 (W27・30型)



補足

- 本図は、W51 H10扉本体とH標準支柱を示します。

※〔 〕内寸法は扉本体H12・〈 〉内寸法はプログコート1型の場合

W H	オーバードアR (W27・30型)	ワイドオーバードアR (W33～60型) オーバードアR プログコート1型 (W27・30型)
標準		
ハイ ル ー フ		

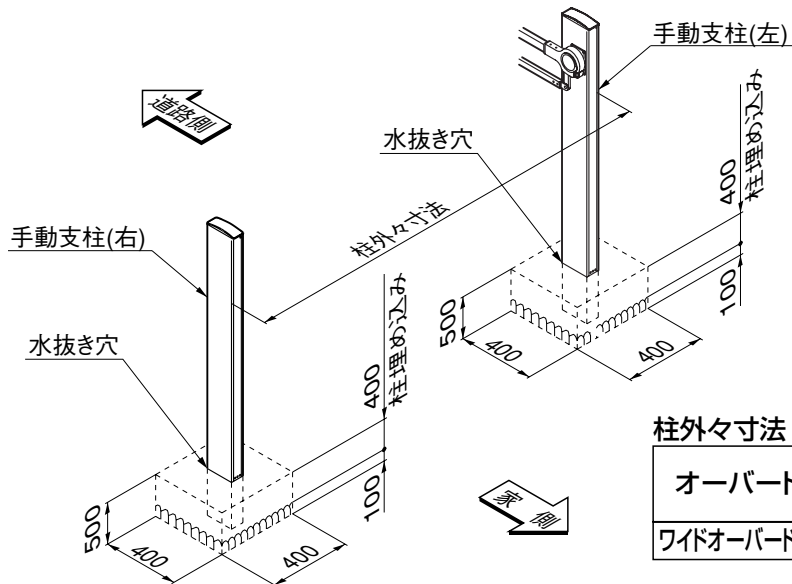
※扉はみ出し寸法、必要高さ寸法は、扉垂直調整や施工精度などにより大きく変わります。扉の軌跡上に障害物がないことを確認して施工してください。詳細寸法は「2-4 扉はみ出し寸法・必要高さ寸法について」を参照してください。

2. 基礎施工寸法

2-1 施工寸法

① 施工方法は「1. 姿図および基本寸法図」どおりに柱の家側を一直線上にしてください。

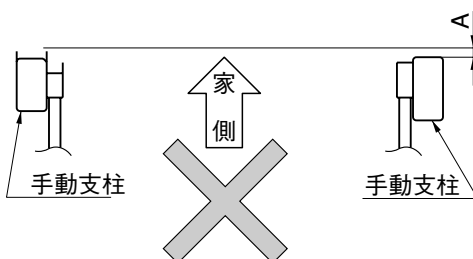
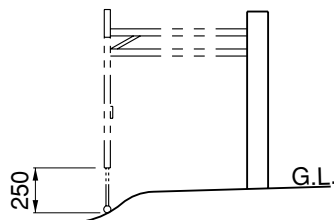
2-2 施工



⚠ 注意

- 基礎施工寸法の柱埋込み位置は、性能や耐久性、安全上重要ですので必ずお守りください。
- 支柱の埋込み位置・高さ・垂直度・水平度を十分に調整してください。調整が不十分な場合、扉の作動に支障が生じる事があります。
- 水抜き穴は確実にG.L.面より上に出してください。水抜き穴より上までモルタルを入れると中に水がたまり、故障の原因になります。

2-3 施工時の注意

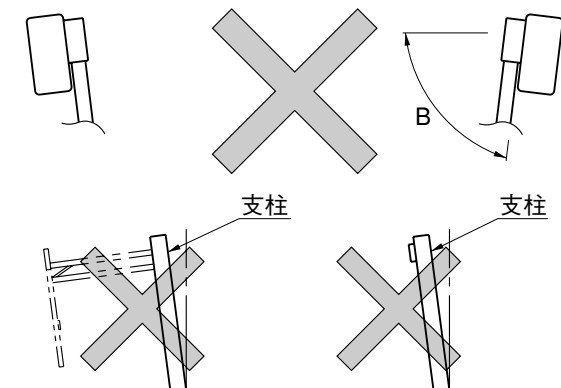


🔑 ポイント

- 水切勾配がある所に施工するときは、支柱埋込位置と扉取付位置との勾配差をできるだけ少なくしてください。接地ストッパーは最大250mmまで調整できます。それ以上すき間があるときは、オプションのロング接地ストッパーセットを使用してください。+100mmまで対応可能です。
- 扉取付位置は、正規の位置からずらさないでください。開閉に支障を来します。

🔑 ポイント

- 左右の支柱が前後にずれないように施工してください。
- A寸法は0mmを守ってください。



ポイント

- 左右の支柱を平行に、施工してください。
- Bの角度は90°を守ってください。

ポイント

- 左右の支柱を水準器で確認し、垂直に施工してください。

2-4 扉はみ出し寸法・必要高さ寸法について ※ワイドオーバードアR／オーバードアRを施工する際に、以下の寸法に注意してください。

扉、接地ストッパーはみ出し寸法

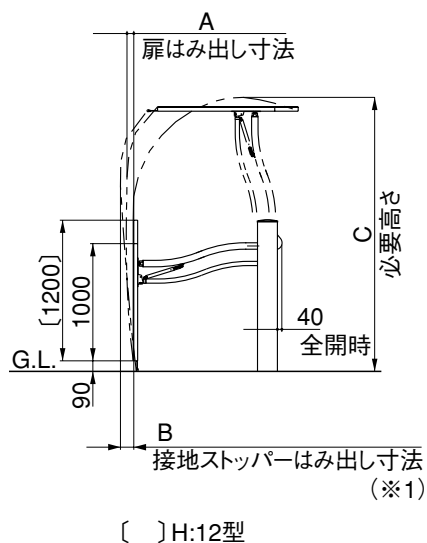
		A		B	
		標準値	最大値	標準値	最大値
レギュラー	標準	11	42	73	92
	ハイルーフ	60	96	109	133
ワイド (またはプロゴート1型)	標準	1	40	61	80
	ハイルーフ	53	90	97	121

※表内の数値は、扉とアームを正規の寸法で施工した場合です。
 ※障害物がある場合、各寸法の最大値+50mm以上のクリアランスが必要です。

必要高さ寸法

		C		
			標準値	最大値
レギュラー	標準	H: 10	2030	2071
		H: 12	2120	2120
	ハイルーフ	H: 10	2330	2371
		H: 12	2360	2371
ワイド	標準	H: 10	2045	2080
		H: 12	2135	2135
	ハイルーフ	H: 10	2345	2380
		H: 12	2365	2380
プロゴート1型	標準	H: 10	2058	2093
		H: 12	2148	2148
	ハイルーフ	H: 10	2358	2393
		H: 12	2378	2393

※表内の数値は、扉とアームを正規の寸法で施工した場合です。
 ※障害物がある場合、最大値+50mm以上のクリアランスが必要です。



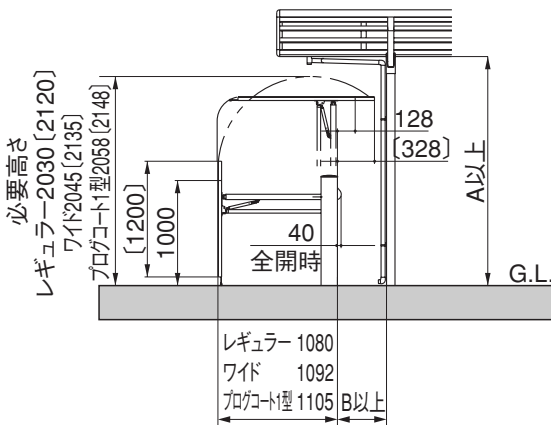
ポイント

- 扉のはみ出し寸法と必要高さ寸法は、扉の垂直調整や施工精度などにより大きく変わります。扉の軌跡上に障害物がないことを確認して施工してください。
- 接地ストッパーは框(下枠)より90mm(※1)伸ばした状態です。接地ストッパーを調整し90mm以上に伸ばした場合、B寸法は大きくなります。最大250mmまで調整可能ですが、その場合、B寸法に+145mm加算してください。

2. つづき

2-5 オーバードアとカーポートの組み合わせ寸法 ※カーポートの桁下に納める場合の寸法です。

- (1) オーバードア標準タイプの場合 ※カーポートはロング柱(+500)が必要です。
 ネオフォルムハイポートのロング柱は+400です。
 ※ただし、テオリSPORTは標準柱で施工可能です。



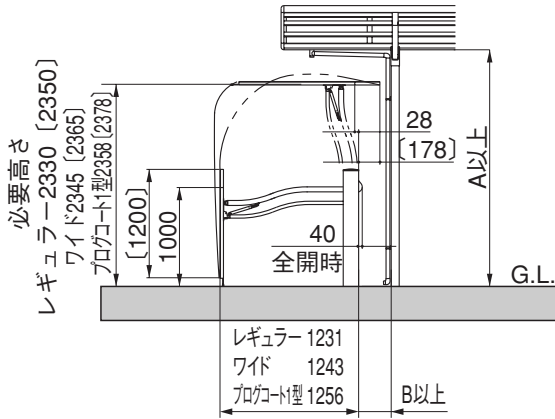
[] H:12型

カーポート	GL~雨樋桁下		H10		H12	
	標準柱	ロング柱使用	A	B	A	B
メジャーポートRレギュラー	1906	2406	2230	230	2320	430
セーブポートRレギュラー						
メジャーポートRワイド	1890	2390	2210	230	2300	430
セーブポートRワイド						
メジャーポートFレギュラー	1908	2408	2210	230	2300	430
メジャーポートストロング	1924	2424				
ライブポート1500	1911	2411	2210	230	2300	430
Nポート	1892	2392				
ライブポート	1895	2395	2200	230	2290	430
ルネSPORT	1912	2412				
フリーポートⅡレギュラー	1407.5	1907.5	1684	230	1774	430
フリーポートⅡワイド						
パークポート	1813	2310	2190	230	2280	430
リードポート1・2型	2000	2500	2340	230	2430	430
プロポート	2000	2500	2090	230	2180	430
スペースポートSタイプ	1850	2350				
テオリSPORT 3000,4500	2362	2562	2170	230	2260	430
エニーポート	2150	2650	2290	230	2380	430
ネオフォルムハイポート	2340	2740	2340	230	2430	430

ポイント

- 扉とアームの取付位置を正規の寸法で施工した場合の数値です。
- B寸法(カーポート~オーバードア柱寸法)は全開時に扉が柱からはみ出す寸法+100mm以上必要です。
- フリーポートⅡレギュラー・ワイドはオーバードア本体が、カーポートの柱外側から100mm内側に入った位置で設定しています。またA寸法は雨樋の桁下寸法を記入していますが、オーバードアは雨樋桁下に納まるのではなく、桁下をさけた屋根下に納まります。
- ウッディーポートは、オーバードアを桁下には施工できません。カーポートの外に出して施工してください。

(2) オーバードアハイルーフタイプの場合 ※カーポートはロング柱(+1000)が必要です。



[] H:12型

カーポート	必要柱寸法 (標準柱+α)		H10		H12	
	H10	H12	A	B	A	B
メジャーポートRレギュラー						
セーブポートRレギュラー						
メジャーポートRワイド	+640以上	+670以上	2530	200	2560	280
セーブポートRワイド						
メジャーポートFレギュラー						
フリーポートⅡレギュラー	+577以上	+607以上	1984	200	2014	280
フリーポートⅡワイド						
パークポート	+677以上	+707以上	2490	200	2520	280
プロポート	2500(ロング柱)		2390	200	2420	280
テリオスポート3000,4500	2562(ハイルーフ柱)		2470	200	2500	280
エニポート	2650(ロング柱)		2590	230	2620	280
ネオフォルムハイポート	2605(ロング柱)		2634	200	2654	280

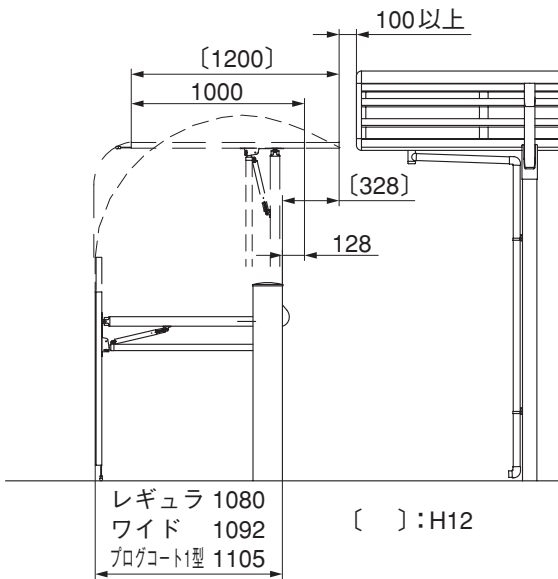
ポイント

- 扉とアームの取付位置を正規の寸法で施工した場合の数値です。
- B寸法(カーポート～オーバードア柱寸法)は全開時に扉が柱からはみ出す寸法+100mm以上必要です。
- フリーポートⅡレギュラー・ワイドはオーバードア本体が、カーポートの柱外側から100mm内側に入った位置で設定しています。またA寸法は雨樋の桁下寸法を記入していますが、オーバードアは雨樋桁下に納まるのではなく、桁下をさけた屋根下に納まります。

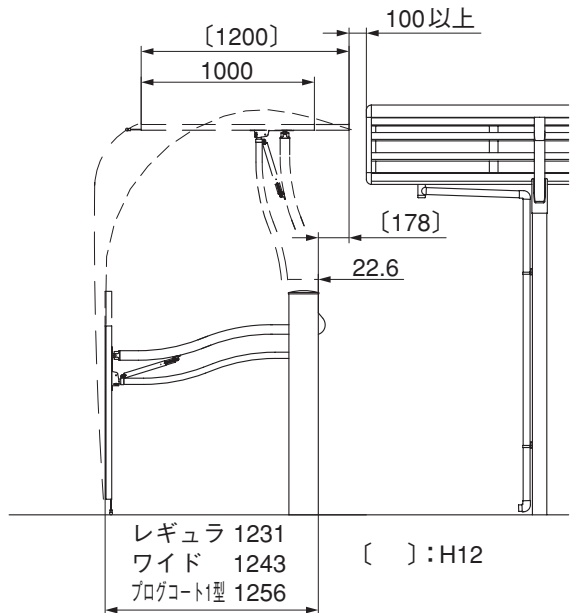
2. つづき

2-6 オーバードアとカーポートの組合せ寸法 ※カーポートの外に出す場合の寸法です。

(1) オーバードア標準タイプの場合



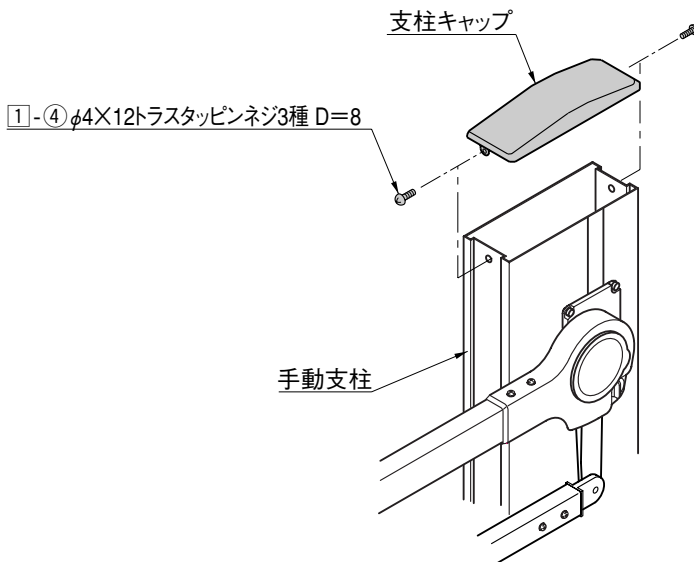
(2) オーバードアハイルーフタイプの場合



ポイント

- カーポート桁からオーバードア全開時の扉とのすきまは、100mm以上のクリアランスが必要です。
- 扉とアームの取付位置を正規の寸法で施工した場合の数値です。

3. 支柱キャップの取付け



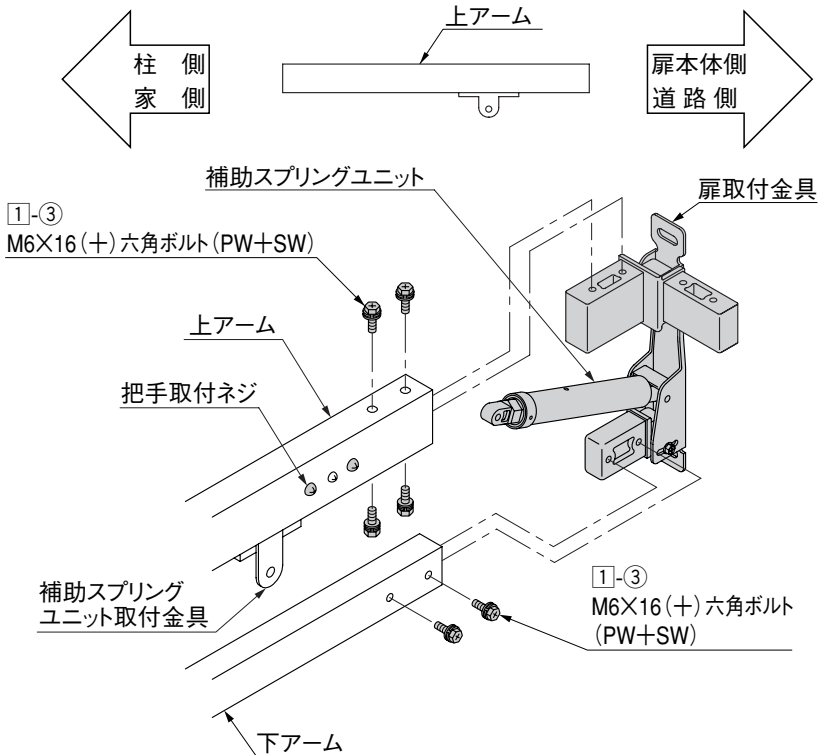
- 支柱に、それぞれ支柱キャップを①-④で取付けてください。

注意

- 支柱を埋設する前に必ず支柱キャップを取付けてください。
支柱内に雨水が入り、故障の原因になります。

4. 扉取付金具の取付け

4-1 標準の場合



- 1 扉取付金具(右)(左)に上・下アームを、それぞれ①-③で取付けてください。

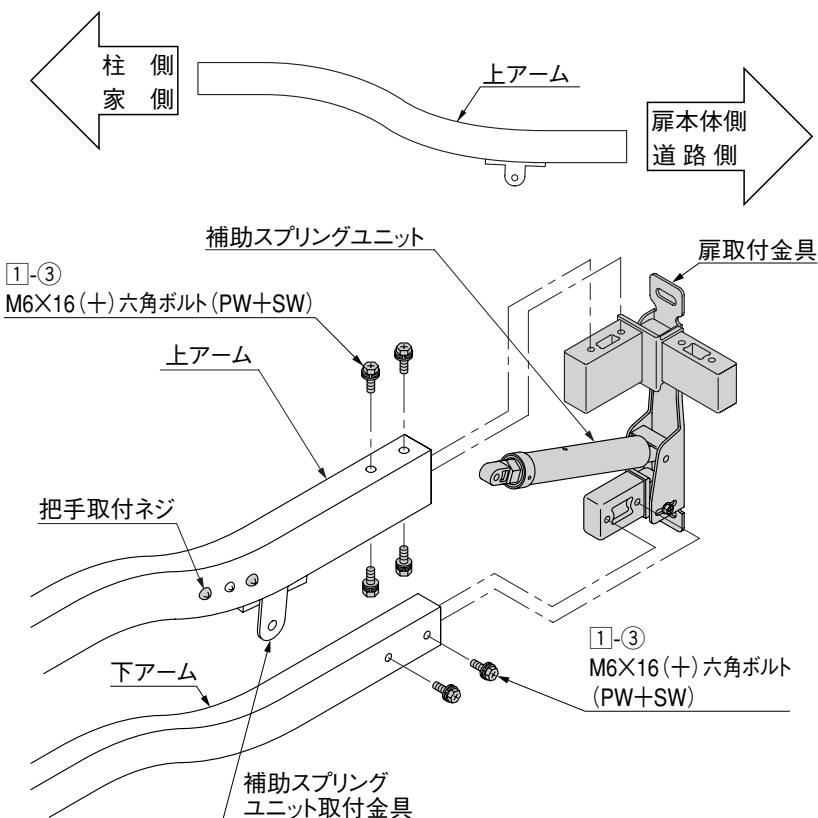
ポイント

- 上アームには柱側扉側の向きと左右がありますので、確認の上、取付けてください。

注意

- 上アームを取付ける六角ボルトはスパナを用い、しっかり締めつけてください。しっかり締めつけないと開閉の際、扉がねじれる原因になります。

4-2 ハイルフの場合



- 1 扉取付金具(右)(左)に上・下アームを、それぞれ①-③で取付けてください。

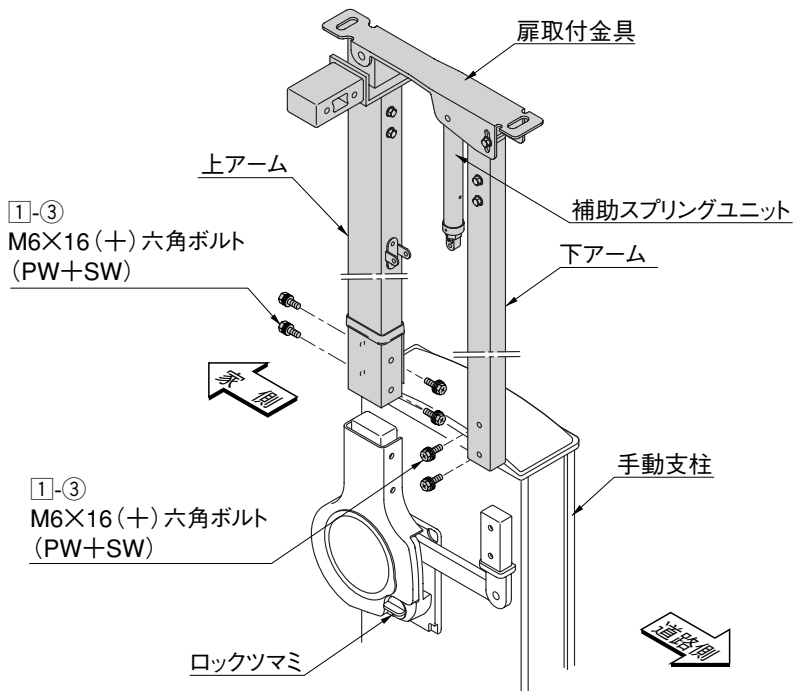
ポイント

- 上アームには柱側扉側の向きと左右がありますので、確認の上、取付けてください。

注意

- 上アームを取付ける六角ボルトはスパナを用い、しっかり締めつけてください。しっかり締めつけないと開閉の際、扉がねじれる原因になります。

5. アームの取付け



- 1 扉取付金具を取付けた上・下アームを、それぞれ①-③で取付けてください。

ポイント

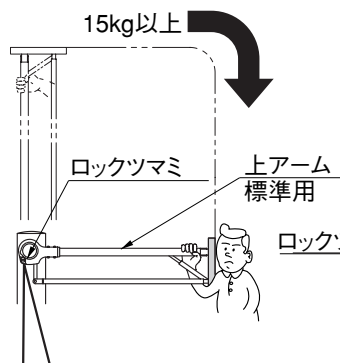
- 扉取付金具には左右がありますので確認の上、取付けてください。

- 2 アームを取付けた後、上アームが水平になるように回転してください。

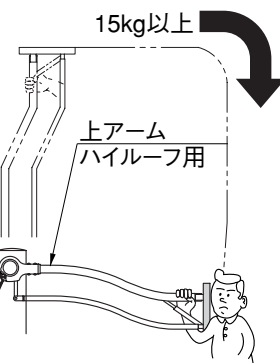
注意

- 必ずロック解除状態でアームを回転してください。ロック状態で回転すると、駆動部が破損するおそれがあります。
- できるだけ上アームの先端を握って回転してください。握る位置が支柱に近づくほど大きな力が必要です。
- アームを回転するには15kg以上の力が必要です。アームの回転途中で手を離すとアームが跳ね上がり、ケガをしたり駆動部が破損するおそれがあります。

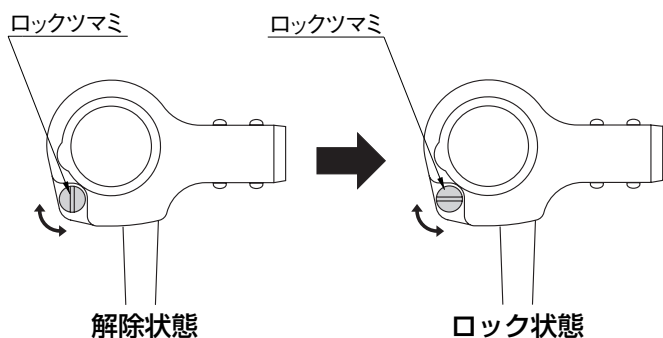
(1) 標準の場合



(2) ハイルフの場合



ロックツマミを押し込んで、ツマミが水平な状態になるまで回してください。

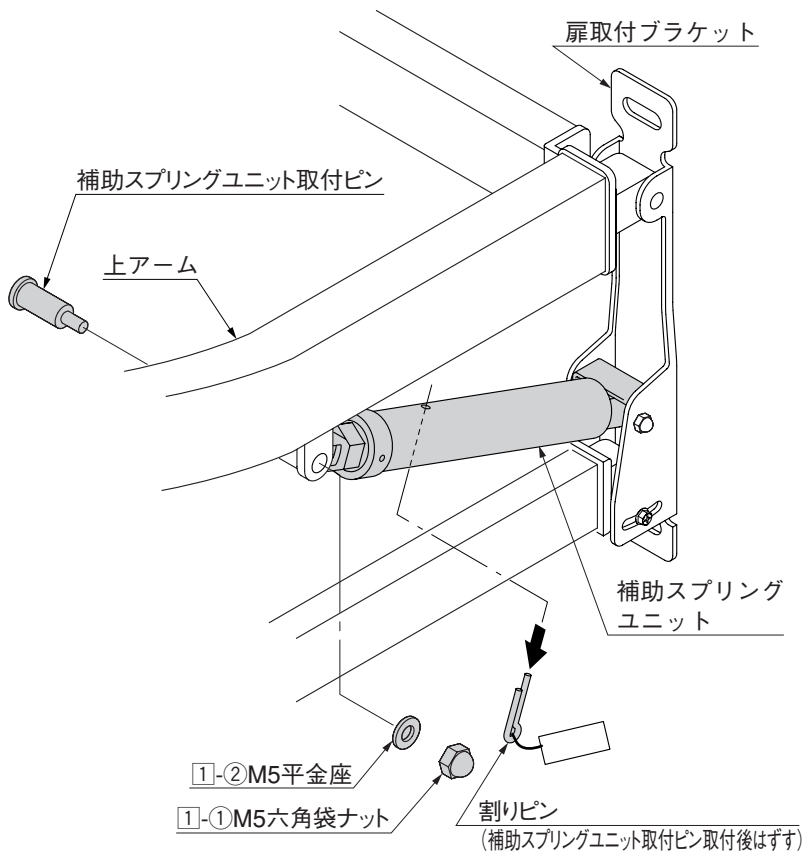


- 3 上アームが水平な状態で、ロックツマミを押し込んでアームをロックしてください。

注意

- 扉の取付けが終わるまでロックは解除しないでください。ロックを解除するとアームが跳ね上がり危険です。ケガをしたり、駆動部が破損するおそれがあります。

6. 補助スプリングユニットの取付け



- 1 上アームを少し下側に押し込み、補助スプリングユニットおよび上アームの取付金具の穴へ補助スプリングユニット取付ピンを挿入してください。

ポイント

- バネの力により上側へアームが向いている為下側へ押し、アームを水平にして挿入してください。

- 2 1-1と1-2を確実に締めこんで固定してください。

ポイント

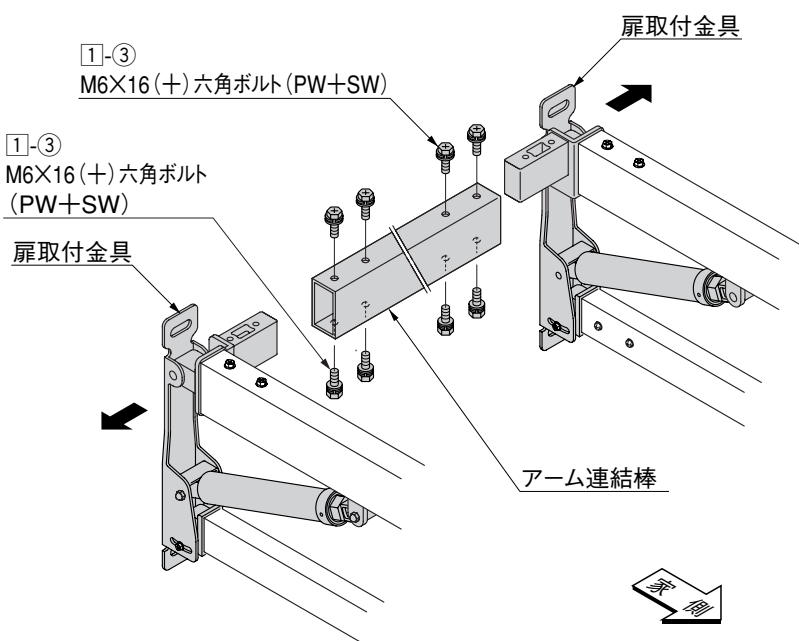
- 1-1はスパナを用いて確実に締め込んでください。

- 3 上アームを少し上側へ持ち上げ、割りピンを取りはずしてください。

注意

- 割りピンを付けたまま動かすと補助スプリングユニットが故障しますので必ずはずしてください。

7. アーム連結棒の取付け



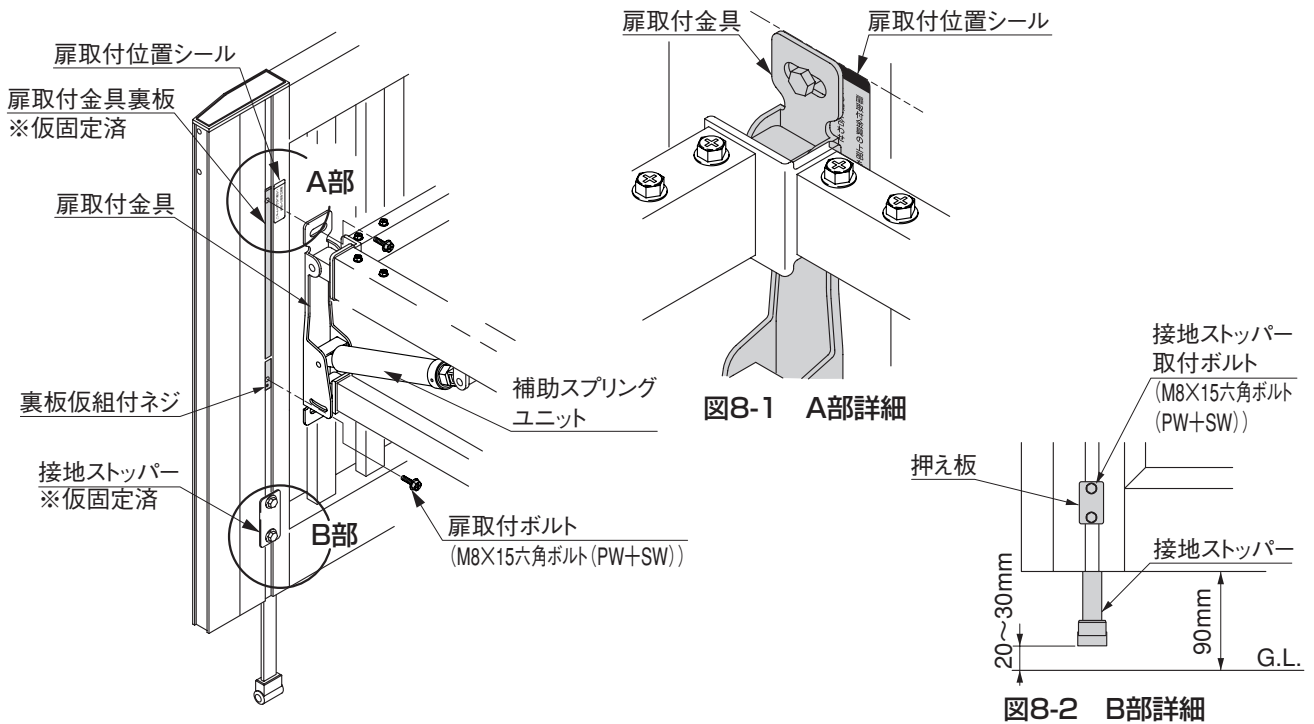
- 1 左右のアームを少し横に広げてアーム連結棒を扉取付金具に差込み、1-3で取付けてください。

注意

- アーム連結棒を取付けるネジはしっかり締めつけてください。しっかり締めつけないと扉のねじれや、異音の原因になります。

8. 扉の取付け

※本図はW27, 30型を示します。



- 1 あらかじめ仮固定している扉取付金具裏板の扉取付ボルトをはずしてください。
- 2 扉取付金具の上端を扉取付位置シールの上端の線に合わせ、扉取付ボルトで取付けてください。

⚠ 注意

- 扉とアームの取付け位置がずれているとバランスがくずれ、扉の開閉に支障をきたすと共に、危険な動きをする場合があります。
アームの取付け位置、取付け寸法を必ず確認してください。(図8-3 A図参照)

- 3 接地ストッパーは仮固定していますので、接地ストッパー取付ボルトをゆるめ、G.L. から20~30mm浮かせた状態で固定してください。(図8-2 B図詳細参照)

アーム取付位置寸法	
標準	ハイルーフ
<p>() 内寸法は扉本体H12</p>	<p>() 内寸法は扉本体H12</p>

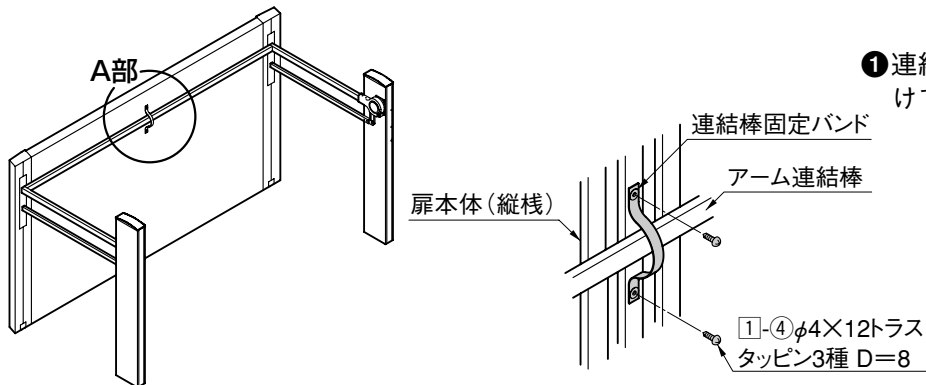
図8-3 A図

🔑 ポイント

- 扉取付け後、扉が垂直になるよう調整してください。(「12.扉の垂直調整」参照)

9. ワイドオーバードアRの連結棒固定バンドの取付け ※扉の開閉時に連結棒のゆれを防ぐために固定バンドを必ず取付けてください。

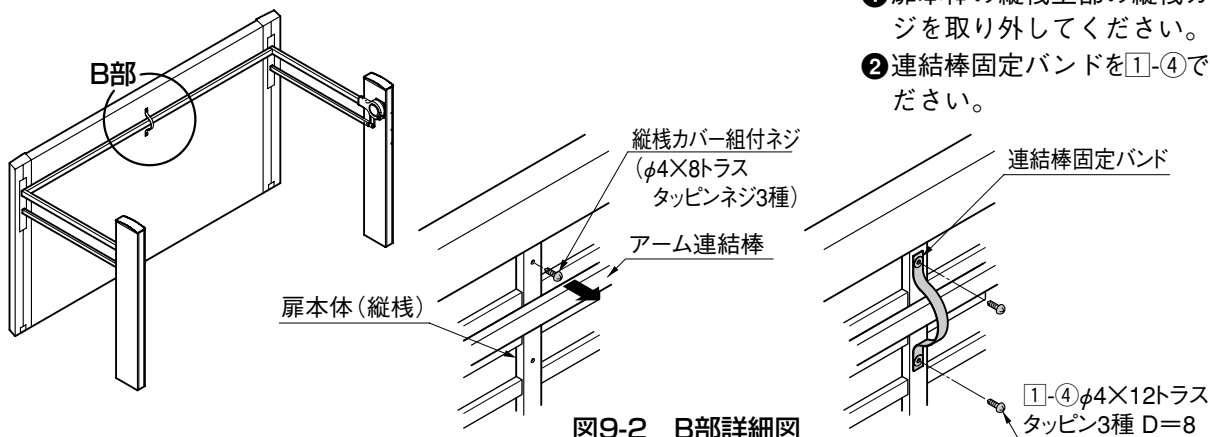
9-1 1型H12・2型H10,H12・3型H12・4型H10,H12・7型H10,H12・11型H10,H12
ライフモダンT型H10,H12・ライフモダンY型H12の場合



① 連結棒固定バンドを①-④で縦棧に組付けてください。

図9-1 A部詳細図

9-2 1型H10・3型H10・ライフモダンY型H10の場合

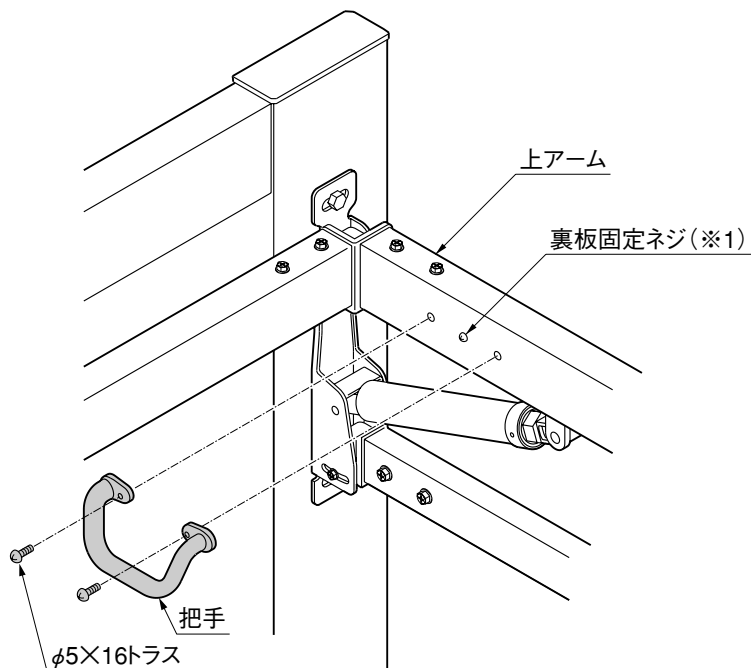


① 扉本体の縦棧上部の縦棧カバー組付ネジを取り外してください。

② 連結棒固定バンドを①-④で組付けてください。

図9-2 B部詳細図

10. 把手の取付け



ポイント

● 把手は左右のどちらか一方に取付けてください。

① 上アームに取付けてあるネジ(φ5×16トラス)を外し、把手を取付けてください。

ポイント

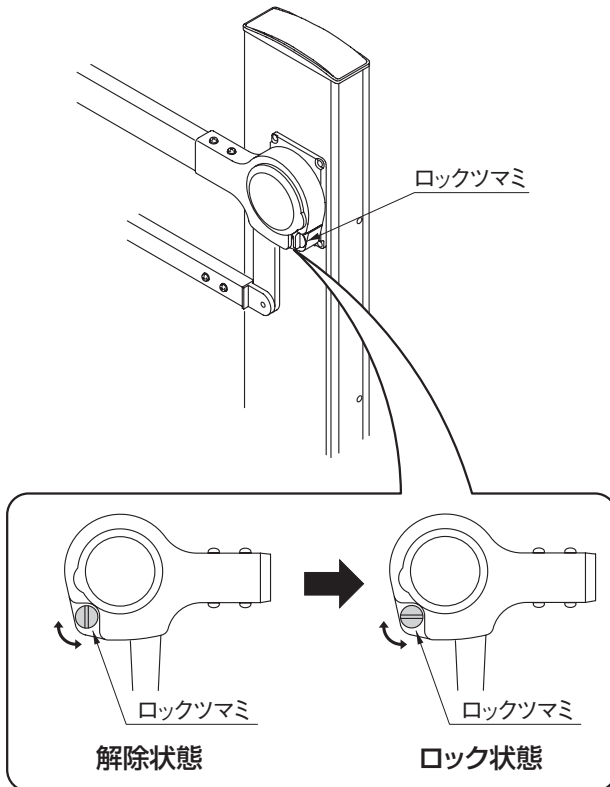
● 裏板固定ネジは外さないでください。(※1)

ポイント

● 把手は左右どちらのアームにも取付け可能です。両方取付ける場合は、別売の把手を使用してください。

11. ロックツマミの使用方法

※全閉時に扉を(ロック)する場合に使用します。



- ① ロックする場合はロックツマミを押し込んで、ツマミが水平な状態になるまでまわしてください。
- ② ロックを解除する場合はロックツマミを押し込んで、ツマミが垂直な状態になるまでまわしてください。

⚠ 注意

- 夜間および強風時等は安全のため、ロックツマミをロック状態にして扉を固定してください。
- 扉を開閉する場合、必ずロック解除してください。ロック状態のまま扉を開けないでください。駆動部の破損の原因になります。

12. 扉の垂直調整

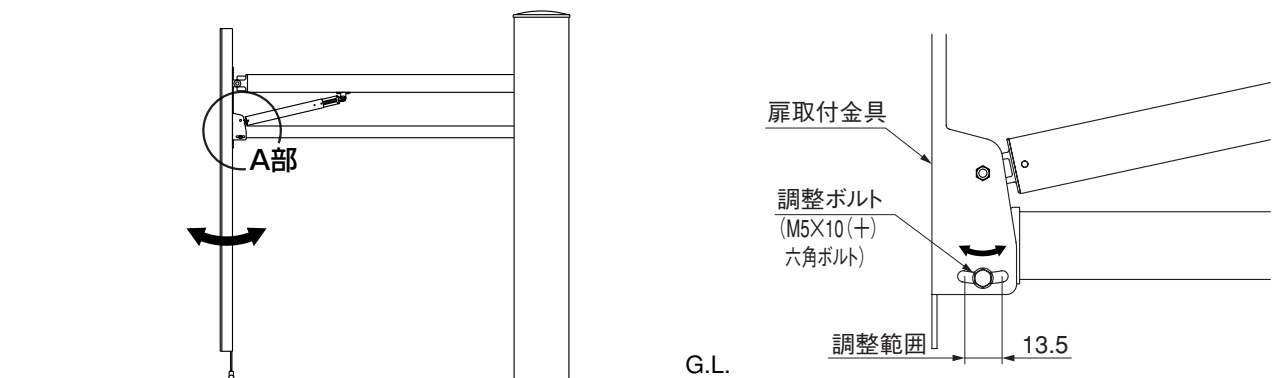


図12-1 A部詳細

- ① 扉取付後、扉が垂直になるように扉取付金具の調整ボルトをゆるめて調整してください。

⚠ 注意

- 調整後、固定ネジはゆるまないようにスパナを用いてしっかりしめてください。ネジがゆるむと、危険な作動をしてケガをするおそれがあります。